



ヤマナカ トモユキ  
**山中 智行**

Tomoyuki YAMANAKA

講演

研修

学術調査

コメンテーター

**所属・職名** 研究開発推進機構 特定任用研究員(准教授)

**研究分野** 神経科学・神経病態学・分子生物学

**研究活動** パーキンソン病やハンチントン病などの神経変性疾患について、未だ根本的治療法は開発されておられません。私は、これらの疾患がどのようにして発症するのか、その分子メカニズムについて主に遺伝子発現異常を中心に解析を進めており、治療標的となるような遺伝子、タンパク質を同定することを目指しています。得られた成果は学会、論文、ネットを通じて公表しております。

**主要な業績**  
(著作・論文・研究発表)

1. "NF-Y inactivation causes atypical neurodegeneration characterized by ubiquitin and p62 accumulation and endoplasmic reticulum disorganization." Nat Commun. 2014(共著)
2. "Mutant huntingtin fragment selectively suppresses Brn-2 POU domain transcription factor to mediate hypothalamic cell dysfunction." Hum Mol Genet. 2010(共著)
3. "Mutant Huntingtin reduces HSP70 expression through the sequestration of NF-Y transcription factor." EMBO J. 2008(共著)

**社会活動・その他**

**所属学会** 日本神経科学学会、日本細胞生物学会、日本薬学会

**キーワード** 脳科学、神経変性疾患、転写因子、遺伝子発現